

質問
このほど、がんを診断され、全身麻酔での手術を受けることになりました。入院前に歯科受診を勧められたのですが、どうして歯科があるのですか。

がん！何でもQ&A

答え
がんを診断されたら、歯科受診が大切です。同時に歯科受診を勧められ、どうして歯科受診が必要なのかを説明いたします。

現在、徳島大学病院では、がんもその他の病気のため全身麻酔を使う手術を受ける方に対して、入院中に食べたり飲み込んだりという口の機能を健全に保つていくための専



徳島大学病院口腔癌センター 主任医師 永井 浩美

全身麻酔前に歯科受診

入院前(手術前)に、治療が必要な虫歯や歯周病がないかを調べて、必要に応じて手術(治療)前に治療を終らなければならない。歯の真中の歯髄を壊らして、がん治療に支障を来さないためのケアです。

全身麻酔とは、主に口から気管の中に直接管を入れて人工呼吸を行います。口の中が汚れていると、口の中の細菌が肺に落ちて肺炎や、誤えん性肺炎を起す危険があります。口腔ケアはその予防を主な目的としています。

口腔ケアは手術だけでなく、がんの放射線治療や手術後の経過観察を受ける方にも有効です。手術の後、抵抗力が低下し、放射線治療によって体の抵抗力が落ちることで、普段の健康時には小菌が感染して口内

腔内の菌が、さまざまな症状(歯肉の腫れ、痛み、口臭、鼻出血、咳、痰、発熱、呼吸困難など)を引き起こすことがあります。手術前に口腔ケアを行うことで、早期に回復していただくために行います。

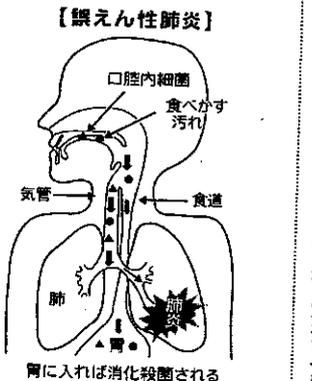
がん治療も、放射線治療や手術の副作用として行われる放射線治療(のどや肺臓病)や腫瘍(癌)の治療を受ける患者は、口腔乾燥症や口唇皸裂(口角を伴ったひび)や口内炎(かぶれ)などが起こります。時には、自分ですぐに気づかずに痛みや腫れがひどくなることもあります。

そのまじな口腔乾燥症や、入院中の歯の治療も、入院前、近頃のケアが大切です。

口腔癌などの症状を緩和し、食べ物や飲み物を飲むのを助けてくれるのが、口腔内の清潔な状態を保つことです。口腔ケアは、腫瘍内科や呼吸器科、消化器科、腫瘍内科、歯科衛生士、看護師が行う歯科ケアからなります。

がん治療に入る前に、治療中に発生する副作用や腫瘍(癌)の合併症を予防するために、口腔ケア(入れ歯)などの治療が終わってから入院していただくのが理想です。その場合、徳島大学病院腫瘍科の口腔ケアの計画を立てた後、入院中の歯の治療も、入院前、近頃のケアが大切です。

また、がんの治療中は入院中の時間的な余裕があまりないことが多いです。虫歯や歯周病のためには、がん治療開始前に行うことが理想的です。普段から定期的な口腔ケアを受けることも大切です。また、退院後に口腔ケアが必要となる方も多く、退院後でもかかりつけの歯医者さんで見つけてもらいたいと思います。



【誤えん性肺炎】

細菌によるトラブル予防

質問 がんに関する悩みに「徳島がん対策センター」が回答しています。質問内容を詳しく書き、住所氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-8502 徳島新聞社文化館がん相談「係」へ。郵上で住所氏名、電話番号は掲載しません。同センター(0878)2000(0000)04000(0)まで平日午前9時～午後5時の受付があります。

徳島新聞社文化館がん相談「係」へ。

また、がんの治療中は入院中の時間的な余裕があまりないことが多いです。虫歯や歯周病のためには、がん治療開始前に行うことが理想的です。普段から定期的な口腔ケアを受けることも大切です。また、退院後に口腔ケアが必要となる方も多く、退院後でもかかりつけの歯医者さんで見つけてもらいたいと思います。